

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 農林水産業費 03 水産業費 04 漁港建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2505000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	水産振興室			
		150,000	150,000	130,000	130,000	0	0	内線番号			
大 中 小 細	事業 事業 事業 事業	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額		
		0		0	65,000	65,000	0	0			
1. 事業の概要と必要性					本年度の財源内訳						
事業概要 水産物の生産流通機能の増大を図り、水産物の安定供給と漁業地域の活性化を目的として国に事業採択を受けた地域水産物供給基盤整備事業により年次的に漁港整備を行う。					区分		金額		財源	款 項 目 節 細 節	金額
事業の必要性 皆生漁港は昭和59年に漁港指定を受けて以来、年次的に防波堤、係留施設等の整備を行ってきた。現在、係留施設整備、港内静穏度の確保については、一定の成果を見ているが、漁港開口部における入出港時の波浪、漂砂への対策が急務となっている。については、航路の維持浚渫費用の縮減、漁業活動の促進等、漁家経営の安定化を図るためにも事業継続が必要である。					2	給料		都道	16 02 05 03 004	65,000	
2. 根拠法令 漁港漁場整備法					4	共済費	226				
3. 用地の状況					7	賃金	1,693	地方	22 01 03 03 001	65,000	
4. 基本計画との関連					9	旅費	146				
5. 本年度の計画効果					11	需用費	346				
計画 防波堤製作工事を行う。 工事費 124,500千円 測量及び試験費 2,800千円 事務費 2,700千円					12	役務費	45				
効果 漁業活動の安全性確保、操業性・利便性の向上と共に航路浚渫費用の縮減を図る施設整備を行うことにより、生産性の増加、漁家経営の安定化が図られる。					13	委託料	2,800				
6. 財源の説明					14	使用料及び賃借料	144				
					15	工事請負費	124,500				
					18	備品購入費					
					19	負担金補助及び交付	100				
					27	公課費					
					事務事業評価の反映状況・・・北防波堤工事が終了した段階で全体事業計画の見直しを行なう						
目的別 性質別											